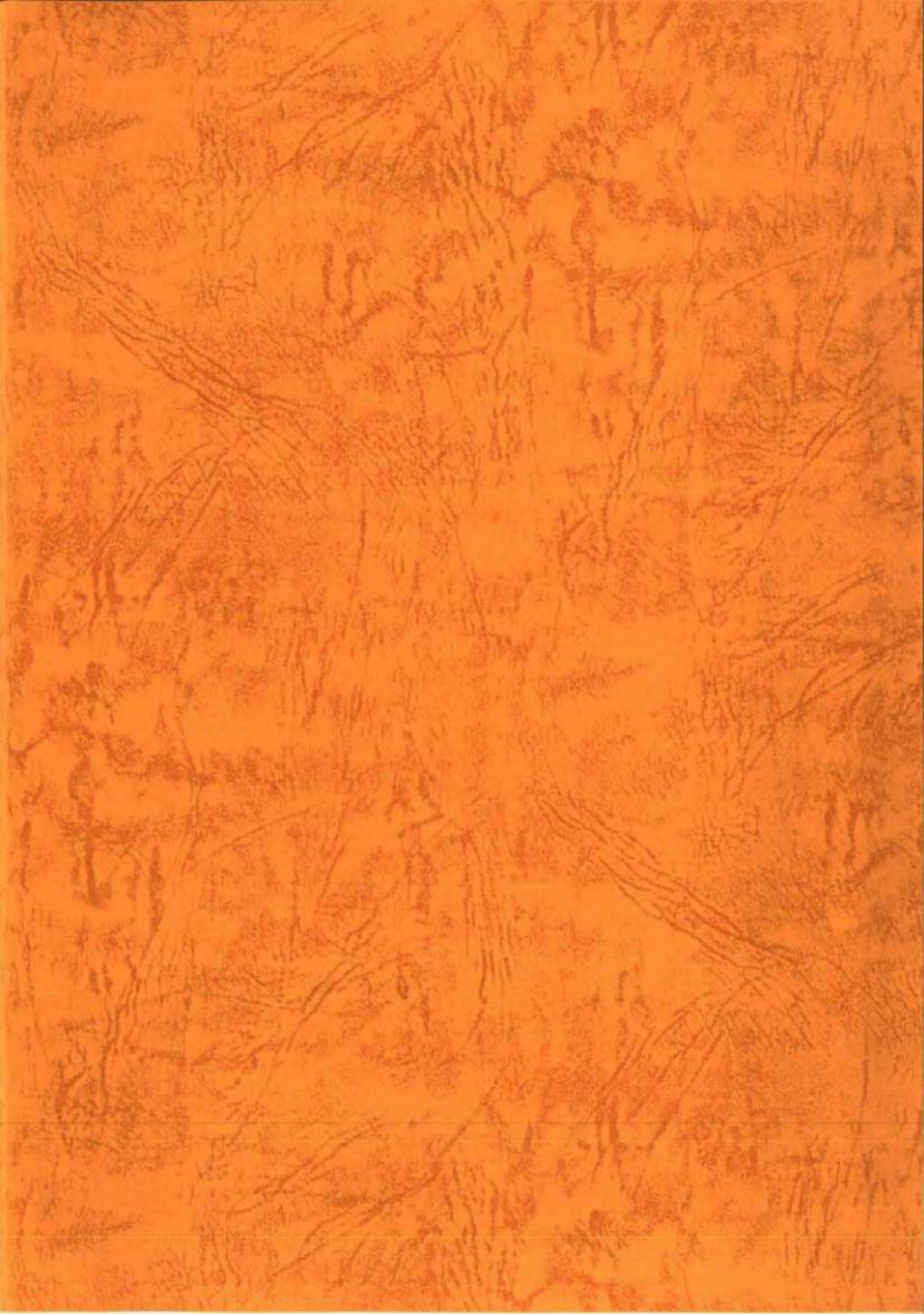


田尻町文化財調査報告 第12集

田尻町内遺跡群発掘調査概要 6

2005.3

泉南郡田尻町教育委員会



はじめに

人間が住みよい環境を創造するために行われる開発がもたらす、文化財や自然に対する影響は大きいものがあります。特に埋蔵文化財は地中に包蔵されていて普段私達の目に触れる事は、ほとんどありません。地面の掘削を前提とし、埋蔵文化財を破壊してしまう開発と直接に結びつく大きな問題です。

遺跡には、田尻町の先人達のメッセージが埋蔵文化財として託されています。そのメッセージを現在の町民、更には未来の町民に伝えてゆかなければなりません。

本書は、平成16年度埋蔵文化財国庫補助事業として田尻町教育委員会が実施した発掘調査の成果を収録しています。この地域の歴史像をさらに豊かにするための資料として活用していただければ幸いです。

概要を報告するに当たり、調査にご協力いただいた地元の方々並びに関係各位にお礼申し上げるとともに、今後とも文化財保護にご理解とご協力をお願い申しあげます。

平成17年3月31日

泉南郡田尻町教育委員会
教育長 道浦 達久

例　　言

1. 本書は、泉南郡田尻町教育委員会が平成16年度に国庫補助金を受けて実施した、大阪府泉南郡田尻町域における埋蔵文化財緊急発掘調査の概要報告である。
2. 調査は泉南郡田尻町教育委員会社会教育課文化財保護係 中野篤史、阪田裕美子（嘱託）を担当者として、平成16年4月1日に着手し、平成17年3月31日に終了した。
3. 本書における図面の標高はT.P.（東京湾平均潮位）を用い、また方位については磁北を示す。
4. 調査の実施にあたっては、下記の諸氏の参加協力を得た。
高松広志、藤田 功、河瀬一裕
5. 現地調査にあたっては、土地所有者をはじめとする工事関係者等多くの方々の協力を得た。
感謝の意を表する。
6. 本書の執筆、編集は中野がおこなった。
7. 本書は、平成16年1月から平成16年12月までに実施した調査を掲載し、平成17年1月以降分については、次年度の概要報告書に掲載する。

目 次

第1章 埋蔵文化財調査の現状

1. 田尻町の位置と環境	1
2. 平成16年度の埋蔵文化財調査の現状	1
3. 各遺跡の概要	1

第2章 調査の概要

各種開発確認調査01	5
各種開発確認調査02	9
各種開発確認調査03	11

報告書抄録	卷末
-------	----

挿 図

図1 田尻町位置図	1
図2 遺跡分布図	4
図3 調査地点位置図（1/10,000、各種開発確認調査01）	5
図4 トレンチ設定図（各種開発確認調査01）	5
図5 トレンチ1 土層断面図（各種開発確認調査01）	6
図6 トレンチ1 北東部平面図（各種開発確認調査01）	6
図7 トレンチ2 土層断面図（各種開発確認調査01）	7
図8 トレンチ3 土層断面図（各種開発確認調査01）	7
図9 調査地点位置図（1/10,000、各種開発確認調査02）	9
図10 トレンチ設定図（各種開発確認調査02）	9
図11 トレンチ上層断面図（各種開発確認調査02）	10
図12 トレンチ平面図（各種開発確認調査02）	10
図13 調査地点位置図（1/10,000、各種開発確認調査03）	11
図14 トレンチ設定図（各種開発確認調査03）	12
図15 トレンチ2 平面図（各種開発確認調査03）	12
図16 トレンチ4 平面図（各種開発確認調査03）	13
図17 トレンチ6 平面図（各種開発確認調査03）	13

挿 表

表1 過去5年間の届出件数表	1
表2 遺跡別発掘届出件数表	1
表3 届出・通知・試掘依頼一覧	2

図 版

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 図版1 調査地全景（各種開発確認調査01） | トレンチ1全景（各種開発確認調査01） |
| 図版2 トレンチ2南半部（各種開発確認調査01） | トレンチ2北半部（各種開発確認調査01） |
| 図版3 トレンチ3全景（各種開発確認調査01） | トレンチ4全景（各種開発確認調査01） |
| 図版4 トレンチ全景（各種開発確認調査02） | 土層堆積状況（各種開発確認調査02） |
| 図版5 トレンチ1・2全景（各種開発確認調査03） | トレンチ2全景（各種開発確認調査03） |
| 図版6 トレンチ3・4（各種開発確認調査03） | トレンチ3全景（各種開発確認調査03） |

第1章 文化財調査の状況

1. 田尻町の位置と環境

田尻町は大阪府の南西部、大阪湾海岸線の中央部に位置し、東は泉佐野市、南西は泉南市に接し、北西は大阪湾に面する。町域の面積は約3.9平方kmである。海岸線に並行して南海本線が、町域南部を国道26号線が走り、泉南地域の基幹交通路となっている。町域の北東部から中央部にかけて田尻川、南西部を樅井川が流れ大阪湾に注いでいる。

2. 平成16年度の埋蔵文化財調査の現状

田尻町はこれまで、近隣市町村と比較してあまり開発が及ばなかった地域であったが、近年は分譲住宅等ミニ開発が多くなりつつある。平成16年度における文化財保護法第57条の2、第57条の3に基づく土木工事等による埋蔵文化財発掘の届出は、5件である。そのうち、民間開発が1件、個人住宅建築が2件、公共工事が2件となっている。また、遺跡範囲外での各種開発確認調査のための試掘依頼の件数は1件となっている。過去5年間の文化財保護法関係の届出件数は表1、表2のとおりである。また、平成16年度調査地は表3のとおりである。



図1 田尻町位置図

	個人 住宅	民間 開発	公共 工事	合計
平成12年度	4	3	2	9
平成13年度	2	3	7	12
平成14年度	8	2	4	14
平成15年度	4	1	1	6
平成16年度	2	1	2	5

(遺跡発見届出を含む)

表1 過去5年間の届出件数表

番 号	遺 跡 名	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
1	田尻遺跡	4	9	13	5	2
2	夫婦池遺跡	1				
3	船岡山遺跡	2	1			1
4	嘉祥神社本殿					
5	船岡山南遺跡					
6	藤波遺跡					
7	吉見藩陣屋跡	2	2	1		2
8	羽倉崎遺跡				1	
9	樅井西遺跡					
10	林嵩遺跡					

(遺跡発見届出を含む)

表2 遺跡別発掘届出件数表

	申請者名	申請地	原因	遺跡名	指導事項	検出遺構	出土遺物
1	田尻町長水野和夫	田尻町大字嘉祥寺375番地の1	町営住宅建設	新規発見 中島遺跡	発掘調査	溝、土坑、 ピット	土器類、須恵器、瓦器
2	個人	田尻町大字吉見253番地28	個人住宅建築	田尻遺跡	慣重工事		
3	田尻町水道事業 田尻町長水野和夫	田尻町大字嘉祥寺地内 (488~495番地)	水道管埋設	船岡山遺跡	工事立会	なし	なし
4	民間開発	田尻町大字吉見705~5、 1012~8、-9、嘉祥寺 1120~11	分譲住宅 建築	吉見藩陣屋跡	発掘調査	なし 近代工場跡	なし
5	田尻町長水野和夫	田尻町大字吉見410番地、 404~1~0~0~1	水路改修	田尻遺跡	工事立会	溝	須恵器
6	個人	田尻町大字吉見1114~69	個人住宅 建築	吉見藩陣屋跡	慣重工事		
7	宗教法人	田尻町大字嘉祥寺375~3、 375~4、375~5、375~7、 403~7、404~1、404~2、 404~3、398~1、398~3、 398~4の一部	寺院建設	範囲外	開発確認 試掘調査	なし	なし

*太字は文化財保護法に基づく届出・通知

表3 届出・通知・試掘依頼一覧

3. 各遺跡の概要

1. 田尻遺跡 田尻遺跡は、本町の中央部に標高5m~7mにかけて位置する古墳時代から中世にかけての遺物散布地である。これまでに19カ所の調査を実施しているが、各調査の調査面積が狭小なため、遺跡の性格は不明である。これまでの調査で中世から近世にかけての粘土探掻坑や古墳時代から奈良時代ころと思われる小規模な溝などが、検出されている。須恵器・土師器・瓦器・陶磁器・瓦などが古墳時代から近世にかけての遺物が出土している。

2. 夫婦池遺跡 夫婦池遺跡は、田尻町の南部、泉佐野市にまたがる、標高7m~9mにかけて位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝状遺構、井戸、柱穴群、スキ溝が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器・陶磁器などが出土している。

3. 船岡山遺跡 船岡山遺跡は、田尻町の東部、泉佐野市にまたがる、樋井川の右岸に沿う沖積段丘上に位置する縄文時代晚期から弥生時代前期にかけての遺物包含層がある遺跡である。これまでに大阪府教育委員会、泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で溝、土壙、柱穴が検出されている。弥生土器、土師器、須恵器、瓦器等が出土している。

4. 嘉祥神社本殿 桃山建築様式を伝える江戸時代初期の神社建築物。大阪府指定文化財。

5. 船岡山南遺跡 田尻町の南東部、泉佐野市に広がる標高8m~10mに位置する弥生時代~中世にかけての遺物散布地である。これまでに泉佐野市域で調査がおこなわれているが、遺構は検出されていない。遺物は土師器、瓦器が出土している。

6. 篠波遺跡 田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m~12mに位置する中世の遺物散布

地である。これまでに泉佐野市教育委員会による同遺跡の調査で、溝、ピットが検出されている。遺物は瓦器、土師器、陶磁器が出土している。

7. 吉見瀬陣屋跡 田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高4m～5mに位置する中世～近世にかけての遺物散布地である。これまでの調査では、粘土探柵壕などが検出されている。遺物は、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器が出土している。

8. 羽倉崎遺跡 田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高3m～6mに位置する古墳時代の遺物散布地である。これまでの調査では、遺構は検出されていない。遺物は土師器が出土している。

9. 横井西遺跡 田尻町の南部、主に泉佐野市に広がる標高10m～11mに位置する弥生～中世の遺跡である。これまでの泉佐野市教育委員会の調査で、弥生時代中期の方形周溝墓、中世の掘立柱建物址などが検出されている。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、陶磁器が出土している。

10. 林寄遺跡 田尻町の北部、旧街道（孝子越街道）沿いの標高2m～4mに位置する近世墓地跡である。近代に移転された。これまでの調査により上塙、スキ溝などが検出されている。遺物は、陶磁器のほか弥生土器、土師器が出土している。

11. 中島遺跡 田尻町の中央部、標高3.5m～4mに位置する中世～近世の集落跡である。平成15年度に実施した試掘調査により新規に発見した。土塙、小穴等の遺構が検出されている。遺物は瓦器、土師器が出土している。

（参考文献）書名	編集・発行	発行年
『泉佐野市所在遺跡発掘調査概要Ⅰ』	泉佐野市教育委員会	1981.3
『昭和56年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ』	泉佐野市教育委員会	1982.3
『大阪府政府財調査概要 平成4年度』所収		
「山山遺跡発掘調査概要 付章 出尻遺跡の調査」大阪府教育委員会		1985.3
『昭和60年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅰ』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『夫婦池遺跡発掘調査報告書』	泉佐野市教育委員会	1986.3
『昭和61年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅱ』	泉佐野市教育委員会	1987.3
『昭和62年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅲ』	泉佐野市教育委員会	1988.3
『昭和62年度 出尻遺跡・船岡山池跡発掘調査概要』大阪府教育委員会		1988.3
『昭和63年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要Ⅳ』	泉佐野市教育委員会	1989.3
『平成2年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要』	泉佐野市教育委員会	1991.3
『泉山郡遺跡群発掘調査概要・Ⅲ』	大阪府教育委員会	1993.3
『出尻遺跡発掘調査概要』	田尻町教育委員会	1994.7
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成6年度』	泉佐野市教育委員会	1995.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 第22号』	泉佐野市教育委員会	1996.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成9年度』	泉佐野市教育委員会	1998.3
『泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成10年度』	泉佐野市教育委員会	1999.3

遺跡地名表

番号	遺跡名	種類	時代	地目	立地	摘要
1	田尻遺跡	散布地	古墳	田・宅地	平地	土崩落、須恵器(散布地)
2	大姫池遺跡	散布地	弥生～古墳	篠山・加賀	平地	土壘壁、須恵器、瓦片(須恵器の発見)
3	鶴崎山古道跡	散布地	西又～弥生	田・稻地	平地	サヌカ(竹)(散布地)
4	葛洋神社本殿	建造物	近世	田	平地	新規社地影丈(昭和59年3月31日)
5	柏岡山南遺跡	散布地	弥生～古墳	田・沼澤	平地	
6	經波遺跡	散布地・集落跡	中世	田	平地	
7	内見御陣屋跡	陣屋跡	中世	宅地	平地	現況は春日神社と既存集落
8	羽佐崎遺跡	散布地	古墳	宅地	平地	
9	輕井西遺跡	集落跡	弥生～中世	田	平地	
10	林吉遺跡	その他の墓	近世	宅地	平地	陶磁器、弥生土器
11	小島遺跡	集落跡	中世	宅地	平地	土師器、須恵器、瓦器

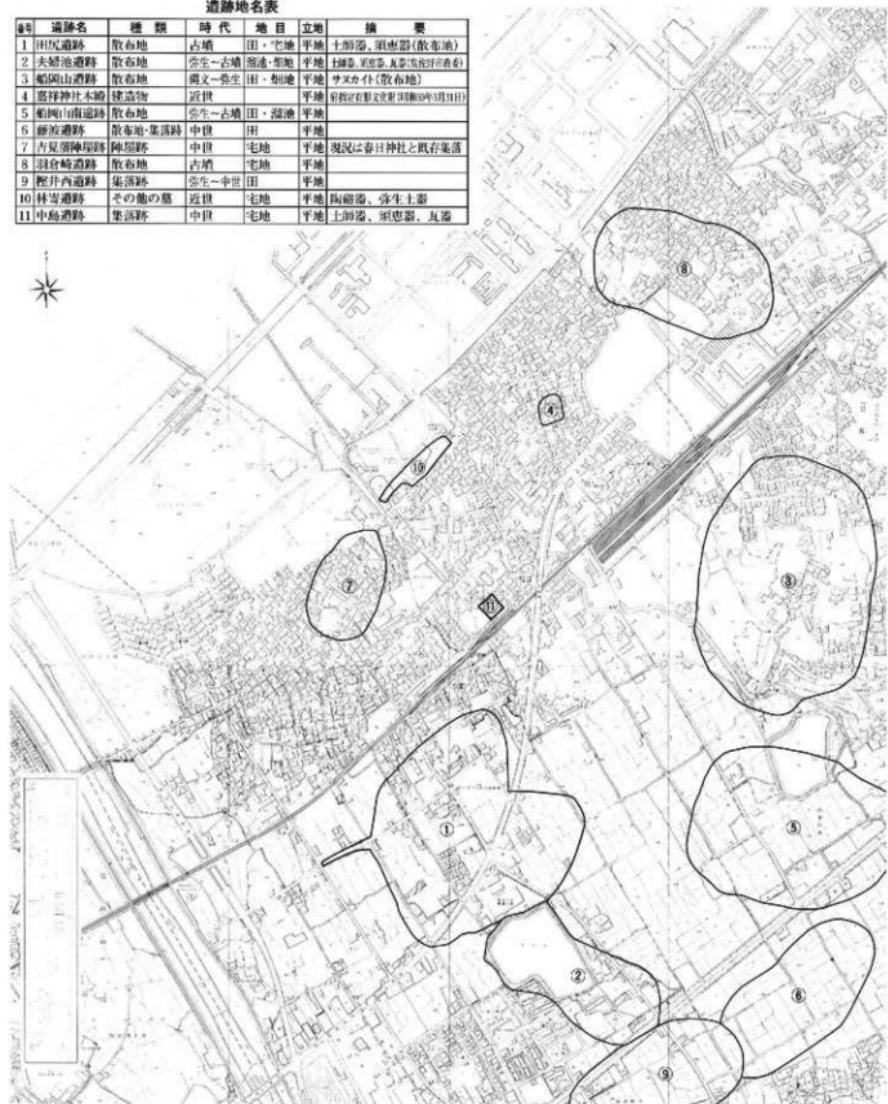


図2 遺跡分布図

第2章 調査の概要

各種開発確認調査01

1. 遺跡名 羽倉崎遺跡
2. 申請者 民間事業者
3. 調査地 田尻町大字嘉祥寺3388-5、3395-1番地
4. 調査原因 物販店舗建設
5. 申請面積 12,417.98m²
6. 調査面積 288m²
7. 調査期間 平成16年2月16日～2月18日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査担当者 社会教育課文化財保護係
中野篤史・阪田裕美子

10. 調査の概要

今回の調査地は羽倉崎遺跡に所在している。近くには桃山時代の建築様式を伝える大阪府有形指定文化財嘉祥神社本殿④や船岡山遺跡③があり、付近に遺跡が存在する可能性が高いと思われる地域である。羽倉崎遺跡は田尻町の北東部、主に泉佐野市に広がる標高3m～6mに位置する古墳時代の遺物散布地である。これまでの調査では、遺構は検出されていない。遺物は土師器が出土している。調査地は、以前に紡績会社の工場が建築されていた経緯があり、かなりのかく乱を受けているものと思われる地点である。



図3 調査地点位置図 (1/10,000)

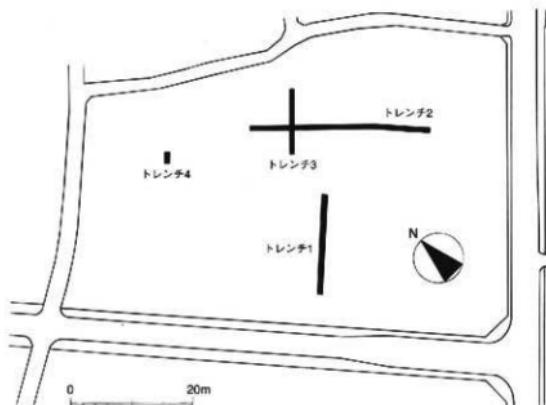


図4 トレンチ設定図 (1/1,600)

調査は申請地に4カ所のトレンチを設定して実施した。

トレンチ1

幅2m、長さ40m、面積約160m²の調査区を申請地のほぼ中央部に北東から南西の方向に設定し、機械で表土を除去したのち、人力にて掘削し遺構及び遺物の検出に努めた。調査区の半分(南西部)は、工場の基礎掘削跡等の搅乱により破壊されていた。

調査区の層序は、上から盛土(層厚約50~90cm)、暗オリーブ灰色粘質土(5GY4/1、層厚約10cm)、黒色砂質土(2.5Y2/1、層厚約10cm)、オリーブ黑色砂(5Y3/1、層厚約15~20cm)、黒褐色砂質土(10YR3/1、層厚約10cm)、黒色粘質土(10YR2/1、層厚約15cm)、黄灰色粘質土(2.5Y4/1、層厚約15cm)の順に堆積している。遺構は南北方向に延びる溝1条、河川跡、落ち込み、水溜と思われる遺構を検出した。遺物は包含層より土師器や瓦器などの中世の土器の破片が出土している。



図5 トレンチ1 土層断面図(縦1/40、横1/160)

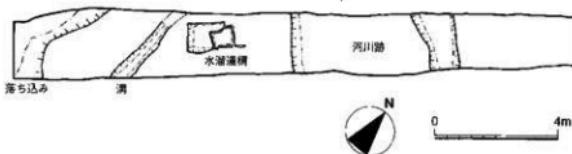


図6 トレンチ1 北東部 平面図(1/160)

溝1

調査区の中央部で検出した南北方向に延びる幅約45cm、深さ約15cmの溝である。遺物は出土していない。

水溜遺構

溝1のすぐ側で検出した。板材により四角に枠組みされた長方形を呈している。長辺の長さは約70cm、短辺の長さは50cmを測る。深さは溝と同じく約15cmである。溝からの導水溝等は検出さ

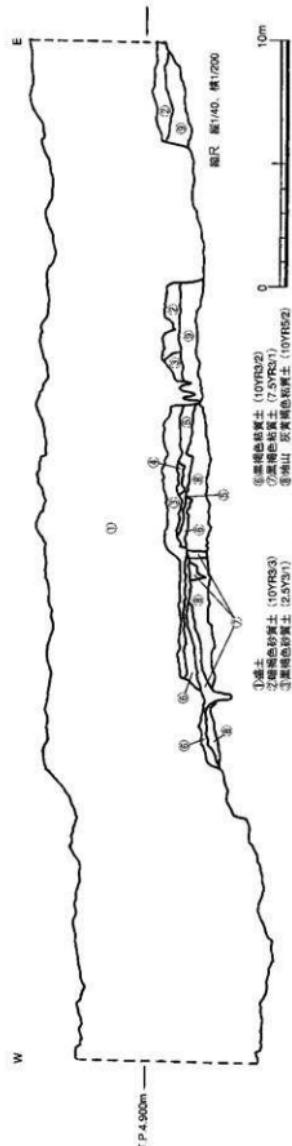


図7 ドレンチ2 土層断面図 (1/40、標1/200)

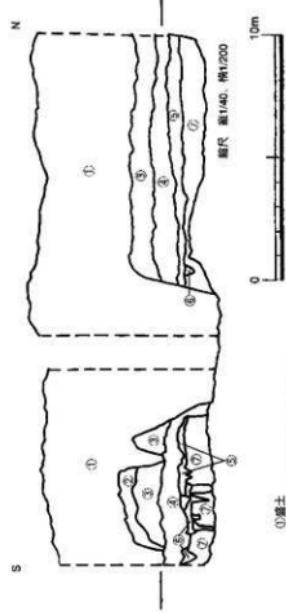


図8 ドレンチ3 土層断面図 (1/40、標1/200)

れていないため、溝から汲み上げて水を溜めたものと思われる。

河川跡

トレンチ1の北東部で検出した南東から北西に延びる河川跡である。上層部が擾乱されていて、検出時の幅は約550cm、深さは約40cmである。実際には上層断面を観察すると、深さ約70cm前後と思われる。

トレンチ2

申請地の東部に幅1.5m、長さ58m、面積約87m²の東西方向の調査区を設定し調査を実施した。トレンチ1と同様に調査区の半分は工場の基礎掘削などにより搅乱され破壊されていた。申請地は南東部から北西方向、平野部から大阪湾に向かってなだらかに落ち込んでいく地形であることが、断面図よりわかる。調査区の層序は上から盛土（層厚約100cm）、暗褐色砂質土（10YR3/2、層厚約12cm）、黒褐色砂質土（2.5Y3/1、層厚約12cm）、灰黄褐色砂質土（10YR4/2、層厚約10cm）、黒褐色粘質土（10YR3/2、層厚約10cm）、地山の順である。遺構、遺物は検出していない。

トレンチ3

トレンチ2の搅乱部の規模を確認できるようトレンチ2に直交するように設定した調査区である。幅1.5m、長さ22m、面積約33m²について調査を実施した。

調査区の層序は、上から盛土（層厚約60～80cm）、オリーブ黒色砂質土（10YR3/2、層厚約10cm）、黒褐色砂質土（2.5Y3/2、層厚約20cm）、黒色砂質土（N2/0、層厚約20cm）、黒色粘質土（2.5Y2/1、層厚約10cm）の順に堆積している。遺構、遺物は検出していない。

トレンチ4

申請地の北西部に設定したトレンチである。幅2m、長さ4m、面積約8m²について調査を実施した。

調査区の層序は、上から盛土（層厚150cm）、黒色砂（7.5Y2/1、層厚約10cm）、黒褐色粘質土（2.5Y3/1、層厚約30cm）、地山の順に堆積している。遺構、遺物は検出していない。

11. 調査の結果

調査の結果、今回の申請地の大部分については、紡績工場建設と廃業後の同工場の撤去に伴い破壊を受けていた。トレンチ1より耕作に伴う溝、水溜遺構、河川跡などを検出した。時期については、包含層より土師器、瓦器等が少量出土しており中世から近世の時期に属するものと思われる。

なお、今回の調査地については開発事業者と確認調査の結果に基づき再度協議をおこない、トレンチ1あたりについては駐車場の計画であり、その他建物が建つ部分については、設計変更により埋没保存の措置を執った。

今後、当該申請地での恒久的な建物建築が計画された場合の発掘調査により、羽倉崎遺跡についてさらに詳細に解明されることを期す。

各種開発確認調査02

1. 遺跡名 範囲外
(遺跡発見 中島遺跡)
2. 申請者 田尻町長 水野和夫
3. 調査地 田尻町大字嘉祥寺375番地の1
4. 調査原因 共同住宅建設
5. 申請面積 7,449.8m²
6. 調査面積 60m²
7. 調査期間 平成16年2月24日～
2月25日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査担当者 社会教育課文化財保護係
中野篤史・阪田裕美子

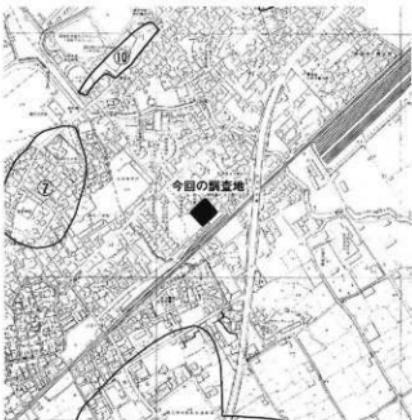


図9 調査地点位置図 (1/10,000)

10. 調査の概要

今回の調査は、平成15年度に試掘調査を実施した町営住宅の試掘調査の第2回目の調査である。第1回目のときは老朽化した住宅が建っていたため、調査することができなかつた場所で、前回の調査時に唯一ごく少量の遺物が出土したトレンチの西側に調査区を設定した。

調査は、幅2m、長さ30mのトレンチを設定し面積約60m²について実施した。重機と人力を併用して掘削し遺構及び遺物の検出に努めた。

トレンチの層序は上から盛土（層厚約25cm）、暗褐色土（10YR3/3、層厚約10cm）、にぶい黄褐色土（10YR4/3、層厚約10cm）、暗黃灰色粘質土（2.5Y4/2、層厚約10cm）の順に堆積している。包含層より土師器、瓦器の破片が出土している。

遺構は小穴10、溝2条を検出した。小穴は直径30～40cm、深さ10～20cmを測る。溝1は幅約100cm、深さ25cmを測る。溝2は幅約200cm、深さ約36cmを測る。遺構から遺物は出土していない。

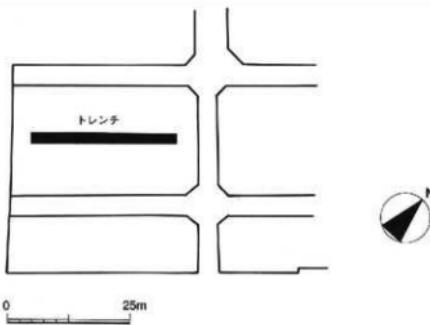


図10 トレンチ設定図 (1/1,000)

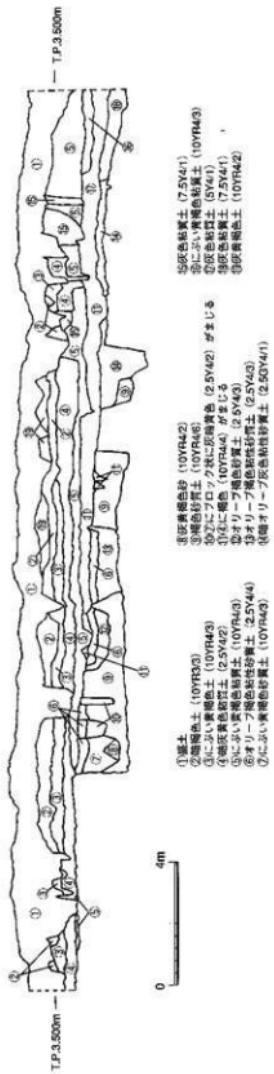


図11 トレンチ 土層断面図 (縦1/40、横1/160)

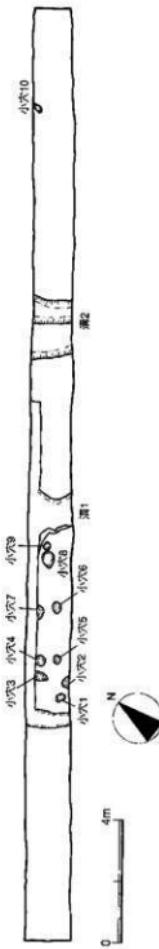


図12 トレンチ平面図

11. 調査の結果

調査の結果、小穴群や溝遺構があること、包含層から中世の土器片が出土していることから、付近には中世以降の集落跡が存在することが確認されたため、事業者に対して遺跡発見通知を提出するよう指導するとともに、前回の試掘調査の結果も踏まえて、今回の試掘調査を実施した区域については、本発掘調査を実施するよう協議し合意した。

今回発見した遺跡は、中世期に属する集落跡と思われ、小字名より中島遺跡とした。

各種開発確認調査03

1. 遺跡名 吉見藩陣屋跡
2. 申請者 民間事業者
3. 調査地 田尻町大字吉見705-5、
1012-8、-9、嘉祥寺
1120-11
4. 調査原因 分譲住宅建設
5. 申請面積 22102.95m²
6. 調査面積 152m²
7. 調査期間 平成16年11月19日
～11月26日
8. 調査機関名 田尻町教育委員会
9. 調査担当者 社会教育課文化財保護係
中野篤史・阪田裕美子



図13 調査地点位置図 (1/10,000)

10. 調査の概要

今回の調査地は、吉見藩陣屋跡のすぐ側の旧海岸線に位置している。以前この地には、吉見紡績株式会社（旧谷口綿布工場）が建てられていた場所であり、すぐ近くには大阪府指定有形文化財田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸、大正11年建築）がある。工場跡地には今も工場の基礎が草に埋もれてしまっている。

調査は、旧海岸線に近いということもあり、旧街道（孝子越街道）沿いの開発区域内に9箇所のトレンチを設定して、重機と人力を併用して遺構、遺物の検出に努めた。

トレンチ1

申請地の南側、吉見藩陣屋跡遺跡内に設定したトレンチである。幅約2m、長さ約5mの10m²について調査した。深さ1mまで重機により掘削したが、破壊が著しく遺構、遺物は検出されなかった。

トレンチ2

トレンチ1の延長線上に少し距離をあけて設定した。幅2m、長さ13mの26m²について調査した。トレンチ1と同様に工場建設時に搅乱されていて、遺構、遺物は検出されなかった。トレンチ内には幅約6mのコンクリート製の工場の重厚な基礎が残っている。この基礎は、80数年前の

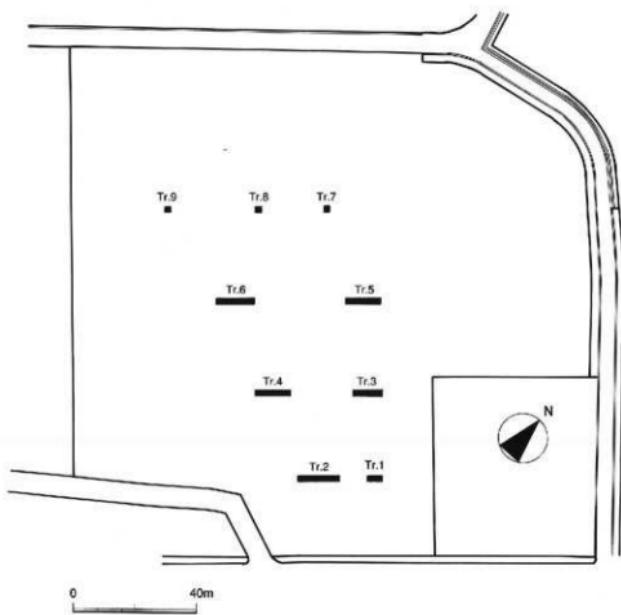


図14 トレンチ設定図 (1/1,600)

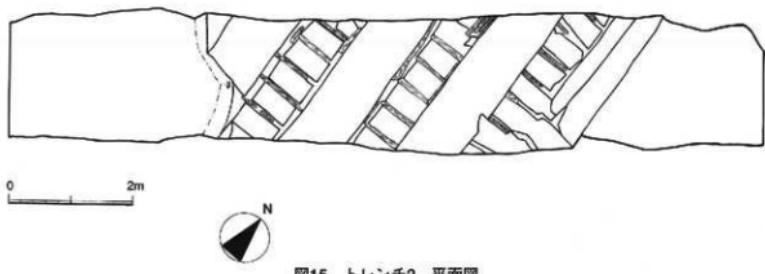


図15 トレンチ2 平面図

大阪府指定有形文化財田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸、大正11年建築）と前後して建設された旧谷口綿布工場（後の吉見紡績株式会社）の工場のものである。当時の施工は大林組ということが文書により判明しているが、工場がどのような工法で建設されていたかは、本町にも大林組にも

図面等が残っていないため、綿紡績産業により飛躍的な発展を遂げた町にとっては、当時の貴重な資料となりうるため、この試掘調査で記録をとることとした。その他のトレンチ3~9についても同様に調査をおこなった。

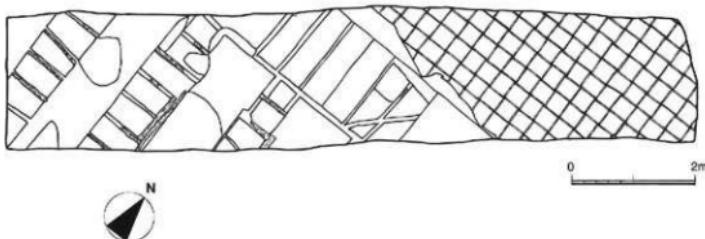


図16 トレンチ4 平面図

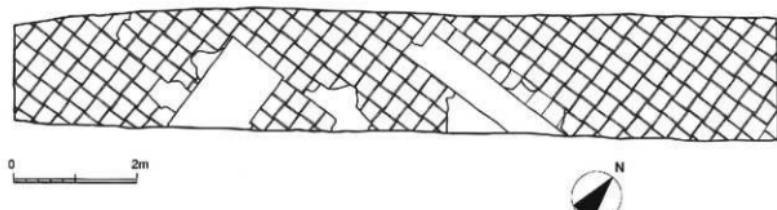


図17 トレンチ6 平面図

11. 調査の結果

今回の調査地からは埋蔵文化財としての遺構・遺物は検出されなかった。しかし、今回の試掘調査により大正期の綿紡績工場遺構として、基礎等を記録することができたことは、本町の近代化を知る上での貴重な資料となるものであると思われる。

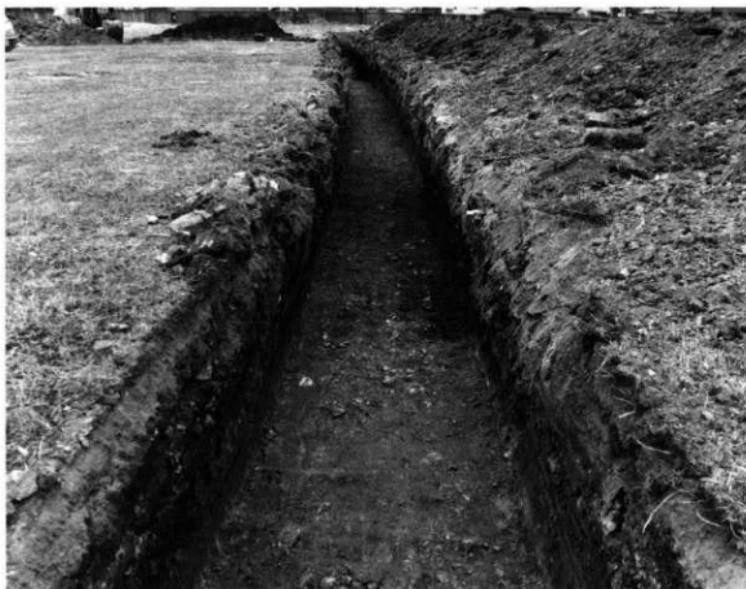
図 版



調査地全景（各種開発確認調査01）



トレンチ1全景（各種開発確認調査01）



トレンチ2南半部（各種開発確認調査01）



トレンチ2北半部（各種開発確認調査01）



トレンチ3全景(各種開発確認調査01)



トレンチ4全景 (各種開発確認調査01)



トレンチ全景（各種開発確認調査02）



土層堆積状況（各種開発確認調査02）



トレンチ1・2全景（各種開発確認調査03）



トレンチ2全景（各種開発確認調査03）



トレンチ3・4全景（各種開発確認調査03）



トレンチ3全景（各種開発確認調査03）

報告書抄録

ふりがな	たじちらうないせきぐんはくつちようさいよう							
書名	田尻町内遺跡群発掘調査概要							
副書名								
巻次	6							
シリーズ名	田尻町文化財調査報告							
シリーズ番号	第12集							
編著者名	中野篤史							
編集機関	泉南郡田尻町教育委員会							
所在地	大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の1							
発行年月日	2005年3月31日							
所取遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
羽倉崎遺跡	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺			34° 39' 921"	135° 29' 579"	平成16年 2月16日～ 2月18日	288	物販店舗建設
遺跡発見 中島遺跡	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺			34° 39' 327"	135° 29' 123"	平成16年 2月24日～ 2月25日	60	共同住宅建設
吉見藩陣屋跡	大阪府泉南郡田尻町吉見			34° 39' 513"	135° 28' 724"	平成16年 11月19日～ 11月26日	152	分譲住宅建設
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
羽倉崎遺跡	散布地	中世	溝、河川跡	土師器、瓦器				
遺跡発見 中島遺跡	集落跡	中世	小穴、溝	土師器、瓦器		遺跡発見		
吉見藩陣屋跡	散布地		なし	なし		大正時代紡績工場跡		

田尻町文化財調査報告 第12集

田尻町内遺跡群発掘調査概要 6

2005年3月

編集・発行 泉南郡田尻町教育委員会

〒598-8588

大阪府泉南郡田尻町大字嘉祥寺375番地の1

TEL.0724-66-1000（代表）

印 刷 株式会社小笠原印刷

大阪府泉佐野市上瓦原646番地

